

調査研修報告書（議員用）

報告者：藤原洋二

実施場所：一橋大学講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）	実施日：2022年5月19日～20日
<p>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</p> <p>① 財団法人日本自治創造学会が毎年開催する研究大会において、当学会の特徴である「自治の創造、幅広い事業への取組、社会貢献」に係る研修に参加することにより、昨今の動向や課題についての認識を深めることを目的とする。</p>	
<p>■参考とすべき事項</p> <p>第1日目（5/19）</p> <p>① 日本のデジタル政策、人口減少・成熟社会のデザインについて ② 地域活性化に資する経済産業省の取組について ③ 民間人の活躍で地方活性している事例発表及びパネルディスカッション</p> <p>第2日目（5/20）</p> <p>① 新聞記者による「元気な地域をつくるのは、当事者の視点」 ② 現職県知事による「新しい千葉の時代を切り開く」 ③ 事例発表（民間人の活躍で地方活性）及びディスカッション ④ 現役市長によるパネルディスカッション 地方行政のリーダーが語る「変化への挑戦～元気な地方を創り出す～」</p>	
<p>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</p> <p>① 経済産業省の取組について、日本経済の現状を把握しての成長戦略（再構築事業を含む）の方向性を検討されていると感じたが、国内（内需）向けの戦略（支援）であり、少し心配でもあったが、本市民間企業が経済産業省の支援を受けての取組にチャレンジしている状況にあって、市行政の発展的支援や参画に期待したい。なお、民間企業による小水力発電事業の取組についても積極的に支援することで「自然エネルギー支援のまち」として、カーボンニュートラルの取組に向けた市のスタンスに期待したい。</p> <p>② 島根県海士町（人材育成）、鎌倉市（コミュニティ通貨）、福井県鯖江市（JKによるまちづくり）の取組では、民間人の活躍で地方が活性化している事例発表会とパネルディスカッションが行われ、いずれの事例も自治体が支援する形となっている。そのリーダーが自治体に魅力を感じるキーワードを見つける必要がある。</p> <p>③ 千葉知事の講演では、県総合計画の基本目標説明があり、危機管理体制や防災基盤整備、くらしの安全・安心の確保の構築、経済の活性化では成田空港の活用やスマート農業の推進、経済圏の確立と社会資本の充実による経済の活性化、子どもの可能性を広げるための教育施策の充実をはじめ、デジタル技術やカーボンニュートラルに向けた取組の講演があった。</p> <p>④ 現役市長（リーダー）によるパネルディスカッションでは、変化への挑戦と題して、富山県南砺市、長崎県五島市、滋賀県守山市長により行われたが、サブタイトルの「元気な地方を創り出す」のとおり素晴らしい事例の報告があった。教育においては面積が広く学校の統廃合は実施せずに旧市町に1小学校1中学校を配置し、すべての施策を市が実施するのではなく、民間組織や団体を支援することでSDGsやカーボンニュートラルに取組まれている。本市のスタイルとのギャップを痛感した。</p>	